



しかはま自然観察会

2024 年度

のらえもん

No. 5

2024. 08. 02~04

『 人も 自然も みんな友だち 』

第5回活動 夏休み「キャンプ体験」第15回目

土呂部でのキャンプは6回目になります。

ここで長く続いているのは、車を乗り入れができる事、
川遊びが出来ること、ホタルを観たり里山遊びができる事、
などが主な理由です。

今回は、8テント・2ケビンを33人で利用しました。
大自然の中で、虫探し・魚つかみ・カヌー遊び、川探検、
星座観察などをしながら、家族で食事を作つて食べる時間の
流れは、たくさん思い出を作ってくれたのでした。
次年度はさらに工夫して、子どもたちを喜ばせたいと思います。

1, 日 時：2024年8月2日（金）～4（日） 二泊3日

2、天 気：晴れ 8月3日（土）の気温 AM 6:00 19°C
10:00 27°C
川の水 16°C
直射日光 36°C
AM 12:00 の直射日光 42°C

3, 場 所：栃木県日光市土呂部97
キャンプインドロブックル 標高1000メートル
TEL 0288-97-1026

4, 集 合：現地13:00頃

5, 参加者：総数33 9家族3スタッフ 内訳 大人 15
専門 1
中学 3
小学 7
幼児 4
スタッフ 3

6. 活動の様子

3日間とも晴れ。暑い！雨不足のため、キャンプ場の草に元気がない。トンボは平地に下りはじめたのか、数が少ない。川の水は生暖かく、かつ水量が少ない。

それでも、33人の参加者はみんな協力しあい楽しく過ごしてきました。

○ ホタル観賞

飯村さんの情報によると、「橋の付近で、少し見られる」とのことでした。

春日さんの集合の合図で、7時に出発。

だんだん暗くなってくる道を、「ホタルはどこにいるかな？」と目をこらしながら歩きました。民宿水芭蕉苑近くの橋にきたとき、「あっ、ホタルだ！」と声が上がりました。あやしげな光が点滅しています。

ふわ～っと、やわらかい、まぶしくない光です。1個が消えると、また1個があらわれました。

8月に入ったので、数は少ないようです。7月中旬頃は、もっとたくさんのホタルを見るることができます。

こここのホタルは、ゲンジとヘイケということでした。

○ 2回目のカヌー

宅急便で送ったカヌー。2日目の朝、それを組み立てる。

2年間触っていないので、みんなで悪戦苦闘。とりあえず、いちどは骨組みだけで組み立ててみた。また、ばらして、いよいよカバーをかけていく。

完成したカヌーを、周さんが一人で担ぎ上げ、川へ運んでくれた。

いよいよカヌーの試乗が始まる。

子ども一人をのせ、バトルを持たせ、ハイしゅっぱー！狭い淵なので、バトルをこぐのは大変。何よりも、カヌーの向きを変えることが一番の苦労。ここはお父さん方が協力して、上流と下流で、アブの襲撃にも耐えながら向きを変えてくれた。

乗っている子どもたちはの光景は、最高だ！

バトルを動かし、水面をゆっくりすべっていく。そのバトルに、トンボが止まる。川のせせらぎとお母さんお父さんの熱い視線！文軒くんは、1才になったばかりの弟を膝にのせて、真剣にバトルをこぐ。見上げれば、青い空に白い雲。なんて平穏なのだろう！

河原にカヌーを放っておくと、女子中学生たちがカヌーで遊んでくれた。

○ 魚つかみ

3時から、もう一つの小川で魚つかみが始まる。魚はニジマスだ。水温16℃。

30匹を小川に投入すると、あれれ？みんな腹をみせて動かない。どうしたの？ 気温が高いので、途中で死ないように氷りを入れて運んでくれたのだ。冷たすぎて、どの魚も仮死状態だった。小川に入れてもらい水に慣れてくると、だんだんに泳いでくれた。でも、小川の水量が少ないので、スッと逃げてくれない。みんな子どもたちに簡単につかまってしまった。

公平にするため、つかまえるのは家族の分だけにしました。

つかまえたたら、調理をして食べるばんだ。

腹に包丁を当て、「これ、何?」といいながら内臓をとりだす。

炭火を起こし、周さんが焼いてくれました。

つかまえ、調理し、炭火で焼いて食べたニジマスのお味はいかがでしたか?

○ 夜の華は、花火!

暗くなると、自然と花火が始まった。キャンプファイヤー広場は、花火に最適だ。
いろいろな種類の手持ち花火が火を噴く。

最後は 線香花火のワザの競い合いになった。きれいに・長く・最後の散り菊までもたせられるか、だ。

線香花火の4変化とは

点火 ①つぼみ(薔) ②ぼたん(牡丹) ③まつば(松葉) ④散り菊 終火

○ 天の川がみえた!

2日目の朝3時頃、見上げると大きな星小さな星が空いっぱいに輝いていました。
それはそれはすごい輝きの星で、どこを見ても星だらけでした。

こんなチャンスは滅多にないのだから、椅子に座ってビールをのみながら、ゆっくりと観察すればよかったです、と反省しています。

次回は、みんなで星観察をしたいですね。

○ 川上り探検

3人の女子中学生は、お母さん方と川探検に行ってきました。途中、猿の大集団に出会ったということです。

魚も見つけ、川を歩くだけでいろいろな出会いがあるんですね。

この活動も、次回、挑戦したいですね。

7. ふり返りの感想

○ はなびが たのしかったです。

鹿浜五色桜小1年

○ たのしかったです。

おにやんまがとれて うれしいです。

かぬ一(カヌー)がたのしいです。

むしとりで おにやんまを つかまえました。

栗島小1年

○ 川あそびがたのしかったし

ごはんも、おいしかったです。

かしわざき小2年

○ むしとりが たのしかった。

高砂小1年

○ ホタルがきれいでした。

カヌーが楽しかった。

おにごっこをした。

川でぼうけんした。

ほたるが 夜にかがやき きれいだった

高砂小3年

○ カヌーが楽しかったです。
ホタルがきれいでした。
テントに虫がいっぱいいました。
おにごっこして、たのしかったです。
川でぼうけんして、たのしかったです。
かぬーが とても たのしかった

西新井第一小3年

○ むしとりがたのしかった。またやりたいです。
つぎも、さんかしたい。
あと、かわ（川でのカヌー）とさかな（魚つかみ）もたのしかった。
きょうは たのしいテント せいかつ

鹿浜五色桜小5年

4才

○ 今回ののらえもんキャンプは2回目です。
私がキャンプ場に来て、一番おもったことは「とんぼ、少な！」です。
それに、1回目のキャンプの時と比べて圧倒的にアブ・ブヨが増えていました。
2日目に、川を歩いているときに猿の大群に遭遇しました。
のらえもん 本日2度目 キャンプ場
川上り カヌーも乗って 水遊び
川渡り 上流行くと 猿遭遇

中台中1年

○ 昨年よりもアブやブヨが多くて嫌だった。だけど、どこもさされなくてよかったです。
川歩いてたら魚がいて、面白かった。
かぬーもできて楽しかった。
だけど、夜の12時くらいでも満天の星が見えなくて悲しかった。
川わたり いわなを探して 猿集団

王子中1年

○ 川で魚をつかまえられた。
川で、猿をたくさんみられた。
魚つかみで、命を感じた。
くらやみで 光るホタル 星のよう

王子桜中1年

○ 今回、初めてのキャンプでした。
自分なりに準備や活動をおこない、とても楽しかったです。
小さい子たちともたくさん交流できてよかったです。全身痛いですが…。
初キャンプの反省をふまえて、ソロキャンをしたいと思います。
キャンプ飯 やっぱりヌードル 最強だ

HAL 東京

○ 遊ぼうと声をかけられる誠一くん子らのにぎわうキャンプ場
○ ホタル見てカヌーこいで魚つかみトンボもいっぱい夏のキャンプ 古高 利男